

UPDATE

■ 2012年度 第1回現場見学会

4月12日（木）、埼玉県上尾市内にて推進とシールドを併用した特殊工法による電力用トンネル工事の現場見学会を開催しました。この工事は、口径 ϕ 2,200mmのトンネルを延長 $L = 565.9$ m、途中曲率半径 $R = 18$ mの急曲線を3か所含む線形を施工するものです。

見学会では先ず現場事務所内で、特殊工法の採用理由や工事進捗現況等の説明が行われた後、トンネル内に入坑して約400m先の掘進機の掘進状況を見学しました。参加者は遠く九州、関西からの参加者も含めて定員の15名でありました。質疑応答では推進とシールドの併用特殊工法の採用理由等が質問されました。

■ 2012年度 第1回 環境に優しい推進

（HDD工法）技術講習会

5月17日（木）、千葉県千葉市内JR千葉駅に近い会場（バーディーホテル千葉）にて、HDD（誘導式水平ドリル）工法の技術講習会を開催しました。講習会では当協会の2011年度発行の「HDD工法用の設計積算要領、機械器具等損料算定資料（参考）、施工管理の手引き（案）」（3分冊）の内容や、HDD工法の特徴・メリット、積算の考え方、工事費概算額等が説明されました。また、実際の施工実例として、長距離施工（ $L = 270$ m）や複曲線施工、高速施工（50m/日）の事例が説明されました。参加者は、千葉県、東京都、埼玉県からの企業者、コンサルタント、工事施工業者等40名でありました。

■ 中国非開削技術協会（CSTT）2012年次総会

4月20日（金）～4月22日（日）、中国鄭州市内国際会議場で開催された2012年中国非開削技術協会年次総会及び技術発表会、展示会に当協会（JSTT）楠田副会長が招待参加しました。年次総会初日には、楠田副会長による「日本の非開削技術の展望」と題した日本の非開削技術（推進、管更生、探査調査技術など）とJSTTの活動概要を紹介する基調講演が行われました。その後中国

からは、非開削技術に関する日・中間交流促進の希望が寄せられています。



2012年次総会開会式

■ 韓国KWater主催の水道管更生プロジェクト 完工式

5月30日（水）、韓国ソウル市内において韓国水道企業体であるKWater主催の水道管更生プロジェクトの完工式が行われ、当協会（JSTT）から松井会長とISTT（国際非開削技術協会）の日本選出理事である豊田氏が招待参加しました。このプロジェクトは ϕ 2,800mm～ ϕ 900mmの水道管を $L = 53.9$ kmに渡って更生するもので、約8,000億ドルの費用が報告されています。KWaterはまた、韓国の非開削技術協会設立に興味を持っており、松井会長の今回の訪韓では、ISTTへの加盟を含めた協会設立のための意見交換（アドバイス）を行って来ております。



水道管更生プロジェクト完工式

UP DATE

■ JSTTの委員会活動

技術委員会は、4月23日(月)に第74回技術委員会を開催しました。この委員会では「第19回非開削技術講演会」(7月10日(火)開催予定)の講演テーマを審議しました。この結果、近年の日本国内の社会基盤設備投資の先細り懸念や海外からの日本の非開削技術活用要望の高まり等を受け、今年度は「我が国非開削技術の海外展開」に焦点を当てて、公益機関関係者による基調講演と海外実務経験者を含めたパネルディスカッションによる非開削技術講演会を計画する事としました。

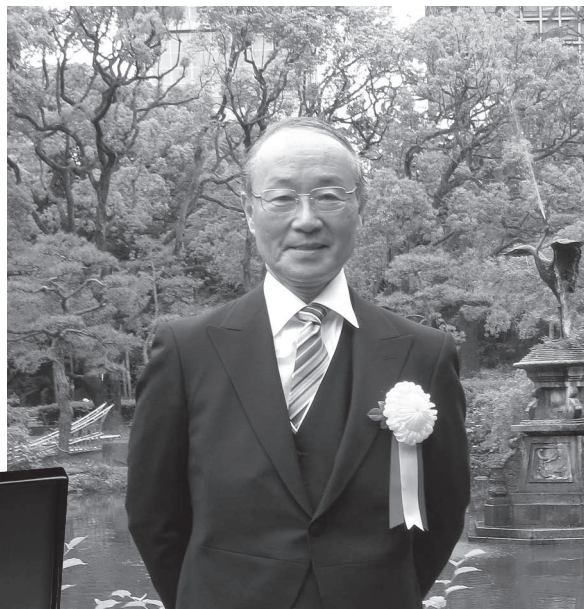
機関誌(No-Dig Today)編集委員会、編集企画小委員会は、4月11日(水)に第81回編集委員会を開催。4月11日(水)に第91回、6月1日(金)に第92回の編集企画小委員会を開催。工法ナビゲーションシステム運営委員会は、4月13日(金)に第40回委員会を開催。ソーシャルコスト検討委員会は、6月1日(金)に第13回委員会を開催。地下探査技術委員会は、4月10日(火)に第9回委員会を開催。HDD(誘導式水平ボーリング)工法委員会は、5月16日(水)に第50回委員会を開催しました。

当協会・松井会長、坂本理事が「瑞宝中綬章」を受賞

当協会の会長である松井大悟氏と理事の坂本弘道氏は、12年春の叙勲で「瑞宝中綬章」を去る6月1日、6月5日にそれぞれ授章されました。



(一社)日本非開削技術協会会長 松井大悟氏



(一社)日本非開削技術協会理事 坂本弘道氏
(一社)日本水道工業団体連合会専務理事



瑞宝中綬章の勲章